

故長尾健太郎さんのお子さんを支援する育英基金
募金のお願い

謹啓 皆様におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

既にご存じの方も多いと存じますが、名古屋大学大学院多元数理科学研究科助教長尾健太郎さんは、去る平成二十五年十月二十二日に三十一歳の若さで逝去されました。長尾さんを失ったことは誠に痛惜の極みであり、心からご冥福をお祈りします。

顧みますと、長尾健太郎さんは開成学園在学時の中学三年から高校三年まで四年間にわたり国際数学オリンピックで輝かしい成績を収められました。最終的に長尾さんの命を奪うことになった病気が発症したのも、最初に数学オリンピックに参加した時と同じくして、と伺っています。東京大学では囲碁部に所属し、団体戦優勝、個人戦二位と活躍されました。その後、自分の病気と向き合いながら、平成十七年三月に東京大学理学部数学科を卒業、同年四月に京都大学大学院理学研究科数学数理解析専攻に入学、博士後期課程に進学し、平成二十一年三月に京都大学博士（理学）の学位を取得しました。同年、囲碁を通して知り合われた華奈様と結婚され、新生活をオックスフォード大学での研究とともに過ごされました。その後、平成二十二年四月に多元数理科学研究科助教に採用され、研究・教育の両面で精力的に活動してこられました。

長尾健太郎さんは、ドナルドソン・トーマス不変量やクラスター代数など幾何学的表現論を中心として幅広く研究を展開し、その成果により平成二十五年九月には日本数学会賞建部賢弘特別賞を受賞されました。今後の活躍が期待されていただけに、長尾さんの逝去は学界にとっても大きな損失であると申しあげざるを得ません。

ご遺族は、華奈様との間にご子息の想太さんがおられますが、一家の支柱を失った悲しみに耐え、新たな生活を築くべく懸命な努力をしておられます。しかしながら、現在、想太さんはまだ三歳と幼く、今後、幾多の精神的、経済的ご苦労があるものと思われ、これからの生活の厳しさは察して余りあるものがございます。

このような事情を勘案いたしまして、僭越ではありますが、私ども長尾さんと生前から繋がりのある者が相諮り、ご遺族を励ますとともに、今後のお子さんの成長の一助として些かなりともお役に立つことを念願し、こ

の度、育英基金を募ることといたしました。つきましては、皆様方のご協力を仰ぎたく、ここにお願ひ申しあげる次第でございます。

なお、お寄せ頂いた募金は、ご援助頂いた方々のお名前前のリストを添えて、ご遺族にお渡しする予定ですが、もし、匿名を希望される場合は、その旨、お知らせいただければ、リストに掲載しないことといたします。

敬具

平成二十六年五月

発起人（五十音順）

伊藤由佳理	入谷 寛	植田一石	上原北斗	太田啓史
菅野浩明	木村嘉之	小崎和子	高橋篤史	立川裕二
田中祐二	寺嶋郁二	戸田幸伸	中島 啓	中西知樹
納谷 信	本多正平	松尾信一郎	山川大亮	山崎雅人

記

趣旨にご賛同いただけます方は、左記口座へ振り込みをお願い申し上げます。匿名を希望される場合は、通信欄にその旨お書き下さい。一口二千元とし、何口でも結構です。

募金の方法

(一) 金 額 一口 (二千円) 以上

(二) 払込期限 平成二十六年九月三十日

(三) 払込先 故長尾健太郎さん遺児育英基金の会

郵便振替口座番号(〇〇八七〇・〇・一五二六二二)

ネットバンキングをご利用の場合は、ゆうちょ銀行

店名(店番)〇八九(ゼロハチキュウ)店

預金種目 当座 口座番号 0152622

(四) 問合わせ先 名古屋大学大学院多元数理科学研究科

教育研究支援室

(電話) 〇五二―七八九―二八三三

(電子メール) bokin@math.nagoya-u.ac.jp